

平成28年度 事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

事業の状況

社会の繁栄の基礎は、科学技術の進歩と産業経済の発展にあるとの考えに基づき、わが国の優れた独創的な研究開発を推進し、科学技術の発展と国民生活の向上に貢献したいという当財団設立提唱者市村氏の想いを実現するため、平成28年度も関係各方面の方々のご支援とご協力により以下の事業活動を積極的に展開し所期の成果を収めました。

1. 科学技術の研究開発助成

1) 新技術開発助成

科学技術に関する独創的な技術を実用化するために技術開発の努力をしている中小企業へ助成する事業です。平成28年度の2次募集からは、助成金の比率を従来の2/3から4/5、上限を2000万円から2400万円に増額しました。平成28年度は24件(総額410,110千円)の助成を決定し、平成28年8月2日及び平成29年2月13日に、財団本部において助成金を贈呈しました。

2. 科学技術の顕彰と国際技術交流

1) 新技術顕彰(市村産業賞、学術賞の贈呈)

わが国の科学技術の進歩、産業の発展、その他国民生活の向上に関し、産業分野あるいは学術分野の進展に多大の貢献をされた方を顕彰する事業です。

平成27年度の第48回市村賞は、本賞、功績賞及び貢献賞合わせて15件(総額70,000千円)を決定し、平成28年4月25日に贈呈式を行いました。産業賞本賞はトヨタ自動車の「トヨタフューエルセルシステム TFCS 開発」が受賞しました。第48回より、会場がホテルオークラから帝国ホテルに変更になりました。

また、平成28年度の第49回市村賞は、審査委員会の推薦に基づき、産業賞では、本賞1件、功績賞2件、貢献賞5件、学術賞では功績賞2件、貢献賞6件の合計16件(総額73,000千円)を決定しました。産業賞本賞は三菱瓦斯化学の「高屈折率低複屈折特殊ポリカーボネート樹脂の開発」が受賞しました。

2) 国際技術交流：国際研究集会参助成及び国際研究集会開催助成

市村学術賞受賞者が国際会議、国際研究集会に出席する場合の渡航旅費の助成について、2件(1,943千円)を助成しました。

国際研究集会開催助成は、助成内容を一部改訂し、対象者が助成金を使いやすくなりましたが、件数は2件(5,490千円)と低調となりました。

3. 少年少女創造性育成

1) 市村アイデア賞

次代を担う小・中学生のアイデアの芽生えを奨励するため、独創的なアイデアを募集し、優れたものを表彰、奨学金を交付し、科学への追求、創造への意欲を高めるよう育成する事業です。

第47回市村アイデア賞の応募総数は28,984件でした。審査委員会の推薦に基づき、その中から個人賞として文部科学大臣賞1件、市村アイデア優秀賞1件、朝日新聞社賞1件、朝日小学生新聞賞1件、朝日中高生新聞賞1件、科学技術館館長賞1件、市村アイデア記念賞6件、市村アイデア奨励賞25件、佳作50件、努力賞57件を、団体賞として最優秀団体賞1件、優秀団体賞2件、奨励団体賞3件、努力団体賞7件を決定しました。

平成28年11月18日に北の丸の「科学技術館」に於いて表彰式を実施し、賞状、トロフィー、奨学金を贈呈しました。また、佳作に対し楯、努力賞に対し賞状を贈呈し表彰しました。なお、個人賞の奨学金と団体賞の賞金の合計は3,730千円でした。

2) キッズ・フロンティア・ワークショップ

小・中学生を対象に科学技術に関する講話や実験・製作などをおして、科学の原理を楽しみながら理解し、科学技術への興味、意欲を高めることをねらいに(公財)日本科学技術振興財団との共催、文部科学省、朝日新聞社、朝日学生新聞社の後援、(株)リコーの特別協賛で「かがく・夢・あそび」をスローガンにワークショップを実施しました。

平成28年度は、半日コースを平成28年11月18日市村アイデア賞の表彰式後に北の丸の「科学技術館」で実施し、受賞者の小・中学生を含む保護者・引率の先生など合わせて約150名が参加しました。冬休み1日コースは、高松市教育委員会、(株)リコー、リコージャパン(株)香川支社の特別協賛を得て、平成28年12月10日、11日に「高松市生涯学習センター」で小・中学生36名、保護者10名が参加し実施しました。また春休み1日コースは平成29年3月11日、12日に北の丸の「科学技術館」で行い、小・中学生64名、保護者35名が参加しました。

4. 植物研究助成

第25回の植物研究助成は、49件の応募があり、平成28年5月13日植物研究園において研究者23名に総額33,240千円を贈呈しました。

また、第26回植物研究助成は、57件の応募の中から植物研究助成審査委員会の推薦に基づき、23件(33,390千円)の助成を決定しました。

5. 講演会の開催

市村産業賞受賞記念講演会を、平成28年8月8日に、(株)リコーのリコーテクノロジーセンターにて開催しました。産業賞・本賞を受賞されたトヨタ自動車(株)の能登氏、高山氏による「トヨタフューエルセルシステム TFCS 開発」の講演に、220名余りの方が熱心に聴き入り、終了後も活発な質疑が行われました。水素燃料電池車「Mirai」の実車展示も行われました。

また、例年より2ヶ月ほど開催時期を早め、先端技術講演会を平成28年9月21日に(株)リコーの中央研究所にて開催しました。学術賞・貢献賞を受賞された東京大学八井崇准教授による「ナノの光の新展開 ～掴めセレンディピティ～」の講演に約70名の方々が参加されました。